

平成 3 0 年 度 に お け る 主 な 施 策
(平成 3 0 年 3 月 定 例 会)

名 古 屋 港 管 理 組 合

目 次

国際競争力強化事業	1
安心安全な港づくり事業	2
親しまれる港づくり事業	3

事業費に係る()は直轄事業の国負担分を含む

事 項	国際競争力強化事業
予 定 額	(7,236,600 千円) 平成 30 年度予算 3,809,000 千円
事業の概要	主な事業 (5,724,000 千円) ○ 岸壁整備 2,296,400 千円 (金城ふ頭岸壁整備) 完成自動車取扱機能の強化として、船舶の大型化への対応や保管能力の向上を図る。 (飛島ふ頭岸壁改良) コンテナターミナルの機能強化として、特に東南アジア航路の船舶の大型化やコンテナ貨物の増加に対応する。 ○ コンテナ関連施設整備 852,600 千円 (飛島ふ頭南コンテナターミナル整備 (貸付金)) 船舶の大型化への対応や荷役作業の効率化のため、港湾運営会社制度のメリットを活用し、名古屋四日市国際港湾株式会社に対する貸付金事業により飛島ふ頭南コンテナターミナルの荷役機械を順次更新する。 ○ その他事業計画調査等 660,000 千円 (航路体系調査、産業動向調査等) 将来のさらなる効率的な航路体系に向けて研究していくための調査や、背後圏産業の現況や動向を把握する調査、並びに施設運営事業会計からの受託事業である埠頭用地整備等を行う。

事業費に係る()は直轄事業の国負担分を含む

事 項	安心安全な港づくり事業
予 定 額	(7,760,500 千円) 平成 30 年度予算 6,575,000 千円
事業の概要	主な事業 ○ 港湾防災対策 2,614,091 千円 (大江ふ頭耐震強化岸壁改良、中川口通船門及び堀川口防潮水門耐震補強、港内護岸液状化対策、大江川地区地震・津波対策調査等) 大江ふ頭岸壁においては、老朽化対策及び耐震性確保のための岸壁改良、また、防災上重要な施設である中川口通船門及び堀川口防潮水門においては、機能の強化を図るため耐震補強を行うなど、名古屋港における防災対策に関する事業を行う。 ○ 泊地しゅんせつ (1,907,500 千円) 1,022,000 千円 (港内泊地等) 港内泊地等の必要水深を維持するためのしゅんせつを行う。 ○ 岸壁・護岸改良等 (1,606,000 千円) 1,306,000 千円 (弥富ふ頭岸壁改良、中川運河護岸改良等) 予防保全計画に基づき、弥富ふ頭岸壁や中川運河護岸などの老朽化施設の改良及び補修を行う。 ○ 臨港交通施設補修等安全対策 1,181,306 千円 (港湾道路補修等) 港湾道路を始めとした臨港交通施設等の補修及び安全対策を行う。 ○ 港湾施設保安対策 451,603 千円 (保安対策施設維持等) 「国際航海船舶及び国際港湾施設の保安の確保等に関する法律」に基づき、国際港湾施設の保安対策を行う。

事 項	親しまれる港づくり事業
予 定 額	平成 30 年度予算 3,022,000 千円
事 業 の 概 要	主な事業 ○ 海事思想普及施設等 1,133,650 千円 (大型客船対応) 「全国クルーズ活性化会議」や「名古屋港外航クルーズ船誘致促進会議」への参加など、積極的な誘致活動を行うとともに、岸壁上での会場設営やシャトルバスの借上等受入態勢の充実など、近年増加する外国客船の寄港に対応する。 (ガーデンふ頭岸壁改良) 旅客船受入能力の向上を図るため、ガーデンふ頭 3 号岸壁の延伸による改良を行う。 ○ 臨港緑地等 938,497 千円 (船見緑地公衆便所整備、中川運河水質改善施設整備、中川運河(堀止)緑地整備、風力発電所 2 号機撤去、臨港緑地維持等) 船見緑地公衆便所整備を始め、人々に親しまれ、生物にやさしい港湾空間を創出するための整備及び臨港緑地維持等を行う。 ○ 水族館 836,185 千円 (生物借上、水族館施設補修等) シャチ「ステラ」の借入れ及び、施設の老朽化対策として南館カメの回遊水槽、北館外壁タイルなどの補修を行う。 ○ 再開発整備等 113,668 千円 (中川運河、ガーデンふ頭、金城ふ頭) 中川運河再生計画に基づく水上交通試験運航のための費用を始め、ガーデンふ頭再開発に向けた検討調査、金城ふ頭駅前ロータリーの改良工事などを行う。

